

館報

おおくま

おもな内容

- 2面……町民体育祭採点種日結果、行事案内
- 3面……清流
- 4・5・6面……大熊町のみなさんよろしく!
- 7面……家庭で非行防止を!
- 8面……文芸
- 9面……みんなのひろば
- 10面……町史探訪・編集後記

発行編集 大熊町公民館

印刷所 新栄社写真美術印刷機



五十人山登山の
思い出

日ガジリジリと照りつける五月二十一日、日曜日、わたしは「なかなよし教室」に参加して、葛尾村にある五十人山へ登山に行きました。山開きだったので、ほかの人も来ていました。わたしは、登山が初めてなので、ワクワクして落ち着きません。みんなもワイワイ、ガヤガヤ話しながら歩きはじめました。

最初は、ふつうの坂道のようにでしたが、突然急になりました。頭からおちそうなくらいに……坂道が急なので、疲れが出て、前にいた人が、後ろの方になっていきます。みんな苦しうに息をしています。それでもがんばって、頂上をめざし、登って行きました。

頂上についた時、わたしと友達には、「やったあ、きれいだなあ。」と声をあげました。あまりの素晴らしいさに数分間立ちつくしていました。山頂でのお弁当は、とてもおいしかったです。その外にも、ドッチボールや五十人山ワルトラフイスなどをして、とても楽しい日となりました。

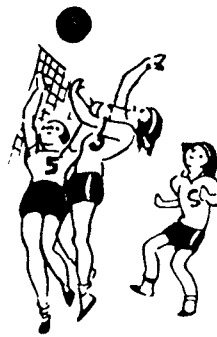
初めての登山はとても苦しく、疲れたけれど、友達といっしょに頂上に立った時の満足感を味わうことができ、良い思い出になりました。また今度、登ってみたいと思います。熊小五年 相楽 理香

町民体育祭採点種目

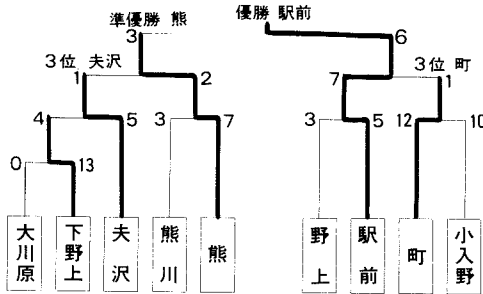
家庭バレーボール大会 小入野 二年連続優勝

町民体育祭採点種目家庭バレーボール大会は七月三日町営第一体育館・大熊中体育館の二会場で行われ、小入野チームが二年連続優勝した。

一方壮年男子を対象にして行われる予定だったソフトボール大会は雨のため延期となり七月十日午後十二時より開催され、駅前チームが二年連続優勝した。



壮年ソフトボール大会



決勝

	小入野	夫沢	熊
小入野		15-11 15-11 2(o)0	15-9 15-5 2(o)0
夫沢	11-15 0(x)2		15-9 15-6 2(o)0
熊	7-15 5-15 0(x)2	9-15 6-15 0(x)2	

Aブロック

	小入野	熊川	下野上
小入野		15-3 15-5 2(o)0	15-13 15-1 2(o)0
熊川	3-15 5-15 0(x)2		7-15 5-15 0(x)2
下野上	13-15 1-15 0(x)2	15-7 15-5 2(o)0	

Bブロック

	夫沢	大川原	町
夫沢		15-4 15-9 2(o)0	15-8 15-8 2(o)0
大川原	4-15 9-15 0(x)2		8-15 15-10 9-15 1(x)2
町	8-15 8-15 0(x)2	15-8 10-15 15-9 2(o)1	

Cブロック

	駅前	熊	野上
駅前		6-15 11-15 0(x)2	15-8 15-10 2(o)0
熊	15-6 15-11 2(o)0		15-1 11-15 15-7 2(o)1
野上	8-15 10-15 0(x)2	1-15 7-15 1(x)2	

種目	部落名	野上	下野上	駅前	大川原	熊	熊川	小入野	町	夫沢
壮年ソフトボール		6	6	10	4	9	6	6	8	8
家庭バレーボール		4	7	6	3	8	2	10	5	9
(計)		(10)	(13)	(16)	(7)	(17)	(8)	(16)	(13)	(17)

家庭バレーボール大会

優勝 小入野 6位 町
準優勝 夫沢 7位 野上
3位 熊 8位 大川原
4位 下野上 9位 熊川
5位 駅前

行事案内

○中学・高校生バレーボール大会
七月二十六日

午前八時三十分 第二体育館
○スポーツ少年団球技大会
八月五日 午前八時三十分

第二体育館
○双葉郡町村対抗野球大会
八月六日 八時三十分

大熊町営球場
○部落対抗ソフトボール大会
八月二十七日

総合グラウンド
○町民体育祭 九月四日

総合グラウンド
○秋季弓道大会
九月十七日

武道館弓道場
○郡総合体育大会
九月二十三日

大熊町
○オリエンテーリング講習会
大会

十月二日 八時三十分
生活環境保全

○職場対抗ソフトボール大会
十月十日

総合グラウンド他
○秋季家庭バレーボール大会
十月二十三日

第一体育館
○軟式テニス教室
十月十一日

町営テニスコート

「本人だけがつくり出せる財産」

一匹の野兔がいた。不覚にも、ある日彼女は人間に捕えられ、オリの中でなんか月も飼育された。はじめは野原を駆け回れない不満があったが、餌をさがす苦勞もなく、寝たい時に寝、それに、敵が襲ってくる心配もなく、毎日の生活が快適であることを知った。

清流

この運動は法務省の提唱により犯罪の防止と罪を犯した人達の更生について国民の理解を深め、犯罪のない社会を築くことを目的とし昭和二十六年以来、国民的運動として毎年七月一日から三十一日までの一か月間を強化月間と定め今年で三十三回を迎えることになりました。

今年度の重点目標は……

「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」

統一標語は……

「防ごう非行、助けよう立ち直り」

と決定いたしました。

最近の運動としては、座談会、公開ケース研究会、映画会、中学校・高等学校生徒による作文や標語募集及び住民集会の開催などが各地に定着し、昨年は全国で九十七万人余の方々がこの

日がたつて、ある日、彼女は突然オリから出してもらった。久しぶりに自然の中に飛び出た彼女ははねた、走った。なにしろ今まで抑えられていた運動欲求が一挙に解放されたのだ。彼女の走り回る姿に満足感があふれていた。が、彼女に異変が起こった。あ

んなに元気にはしゃいでいた彼女がぼったり倒れてしまった。飼主が駆け寄ってみると、彼女は呼吸をしていなかった。飼い主にはわけがわからない。そこで自分のペットの死体を解剖してもらった。死因は「冠状動脈疾患」だった。野兔の心臓は、運動不足のためにいつの間にか小さく、弱々しくなっていた。

便利で快適なオリの中で、身分不相応なぜいたくな生活を送っていた野兔は、栄養をたっぷり摂りながら、暑さ寒さに立ち向かって自分の食糧を探し求めるような運動はほとんど行わず、栄養は過剰になった。安易な生活と引き換えに、健康を守り、それをつくり出す体力を失ってしまったのである。死んだ野兔の話から二つの教訓

を読みとることができる。一つは、運動不足と栄養過剰の恐ろしさであり、もう一つは、普段あまり運動をしない者が急激に運動をすることの恐ろしさである。心臓のみならず足でも使わなければどんどん衰退する。「老化は足から」とか「年は足から」などといわれるが、年をとっても、自分が思うように体を動かし、人と同じように社会生活をし、余暇を楽しみ、そして働くこと……それらができるのも年齢相応の体力があつてこそである。

集会に参加されております。

大熊町においても保護司、更生保護婦人会、PTA、防犯協会など関係機関・団体がこぞって本運動に参加し目的達成のため活動をしているところであり更に一層の努力をして参りたいと考えております。

多発、覚せい剤、シンナー等毒・劇物濫用事件の増加など複雑多様な状況にあります。ことに校舎放火事件、また浮浪者襲撃事件などは弱者に對したわりの心という基本的觀念に欠けた事犯であると思ひます。

このような事件が日常どこかで起こっている事実をうかがうとき

近年、健康づくりと積極的に取り組んでいる人々が多く見受けられるがまだ「健康はお金で買える」とか「自分の健康管理は医者まかせ」的な考えを持っている人も多い。例えば不摂生をし健康を害すると医者へ行く。行けば治療はしてくれるが病氣の原因を全て除いてくれるわけではない。長い年月かかって進行した病氣は、もう元には戻らない。人間の再生は不可能である。医学にも限界がある。医師は「後始末屋」ではないし、健康を配達して歩くメッセンジャーポイイではない。健康はやはり本人だけがつくり出せる「財産」ではないだろうか。



第三十二回社会を明るくする運動月間(7/1-31)

保護司 池下 廣

の多くは、十二歳より十五歳までの中学生であると言われています。これら少年非行は年とともに低年齢化し、昨年福島保護観察所が扱った少年の保護観察事件は千八百六十七件と五年前の二倍以上に増加したといわれております。

その内容は、万引などの経済権、学校内暴力事件・家庭暴力事件の

その少年達の不満の銚先の多くは学校であり、先生であり、親であると思われる。この問題を当事者間で話し合いをしようとする努力も少年たちの心を開かせることは実際にむずかしいものと思ふ。そこに第三者の活動があればと考えられます。

今年度は青少年の非行防止対策と



派遣社会教育主事 (スポーツ担当)

若松 敦



よ る し く !

大熊町に転入してこられた、小中学校の先生方をはじめ各官衙の方々に着任のあいさつをいただきました。今後共、なにかとお世話になります。大熊町のみなさんよろしく！

大熊中校長 館下 要藏



四月一日、大熊町立大熊中学校に着任いたしました館下です。大熊町は、町長さんはじめ教育長さん、町民の皆さんが、学校教育に深いご理解をいただき、教育予算も他町村にくらべて大変多く、驚きと喜びで一杯でございます。私はこれに答えるために、大熊中学校の生徒一人ひとりを、人間性豊かな生徒に育てることが責務であると肝に命じ、本校の教育目標を次のように定めて、毎日の教育を進めております。

「学校教育の目標」

- 一、心身ともに健康で実践力のある生徒
- (ア) 自他の生命を尊重する生徒
- (イ) 思いやりがあり誠実に行動する生徒
- (ウ) 健康でたくましい体力づくりに励む生徒
- 一、豊かな情操と社会性を身につける生徒
- (ア) 人の好意に感謝し美しいものを求める生徒
- (イ) 社会道徳を守り責任感のある生徒
- (ウ) 節度と調和のある生活を築こうとする生徒

一、進んで学習し正しい判断力をもつ生徒

- (ア) 自ら学び自己を高める生徒
- (イ) 物事を正しく判断し実現を図る生徒

以上が本校の指向する生徒像であります。立派な環境に恵まれた学園で、立派な生徒を育てる為に全力投球する考えです。皆様方のご協力の程をお願い申し上げます。

大野小校長 猪狩 保



教育環境の大変良い地に建てられた素晴らしい学校に勤務させていただき本当に有難ううれしく存じております。

特に地域の皆様や来客の方々から異口同音に学校の立派さを賞賛下さっております。私はこれを耳にするたびこの学校にふさわしい子どもを育成しなければ……と痛感しているところでです。

それにしましては学校教育の充実発展は教職員のみではできません。特にはあらゆるものが多様化している今日ではPTAや地域の方々、関係諸機関のご指導、ご協力によらなければ到底望めないことでございます。ともかく教育という営みは余り短兵急に事を運んではいけないと

大熊中教諭 土屋 保男



思います。じっくり腰をすえ実態を見極めながら一歩一歩着実に推進することが目標に近づく最も良い途であるように考えています。素直で明るい四百十七名の子どもたちに更に磨きをかけたいと思います。よろしくお願ひします。

この度の異動で中学校に転任してきました。一応地元で最後のご奉公と思つてがんばりたいと思つております。しかし最近の新聞などで報道されている種々の問題が本校でもなきにしもあらずです。それを校内だけで解決しようとしても今は不可能ではないかと思つています。そこで健全な青少年を育成するために、町民のみなさんのご協力をお願いしたいと思つております。

将来の展望をもった目標と生涯を通しての健全な趣味を持った生徒づくりをモットーにしていきたいと思つておりますので、折りにふれご助言などお願いいたして着任のあいさついたします。

大熊中主任主査 山本 勝治



大熊中に赴任しまして四か月になりますが、教育予算面等を通して町当局や町民の方々が教育に対して深い理解を示されていることを知り感銘を深くしております。私の専門は学校事務ですが、部活動としての剣道も指導してきましたので、今までの経験を生かし、心と体を鍛える剣道の指導にも精進したいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

大野小教諭 白土 郁子



広々とした田園風景の中に、理想的な近代校舎、こんな素晴らしい環境を持った学校は、見たことありませんでした。

大野小学校四百余名の子ども達は、この条件をフルに生かして校舎に負けない立派な子どもに成長して欲しいと思います。私も微力ですが子ども達と共に頑張りたいと思つております。



大熊町の



みなさん



舞見中 暑

大野小教諭 丹 孝平



この四月から大野小学校勤務を命ぜられ、大熊町民の仲間入りをしました。出身は常磐ハワイアンセンターのあるいわき市湯本です。一人暮らしの生活にも慣れ、また、ご近所の方々にも本当に親しくしていただき、楽しい毎日を送っております。

大熊町については、原子力発電所がある町、ぐらいの認識しかなかった私ですが、とても活気のあるこの町で生活できることを本当にうれしく思います。

大野小教諭 鈴木ハナ子



伝統あるこの大野小に再度勤務するようになり四か月になろうとしています。すばらしい環境の中で、子どもたちの元気な声が広い校庭にこだまします。このごろ「心のゆたかさ」ということがよく聞かれるようになりました。どんなことが「心のゆたかさ」

なのか考えさせられるこの頃です。「自分たちはいま、幸福なんだなあ。」と考えられる子どももいたと思います。地元……心あたたまるおもいと、ひきしまる感じが同居することばです。この道三十余年……「初心にかえって」という心境で、四百余名の子どもたちとともに本校教育目標にむかって取り組んでいきたいとおもっております。どうぞよろしくおねがいいたします。

大野小教諭 中野 明衣



「山は緑、野は緑、梨の花咲く丘こえて……。」美しい二部合唱の校歌でむかえられてから、はや四か月がすぎようとしています。夢中ですが四か月でしたが、ようやく子どもたちにもなれ、楽しい毎日をおくれるようになってきました。

一人ひとりの子どもが、より高いよりよいものに近づこうとする努力をし、クラス全体がおたがいの力を出しあい、影響させあっているように感じます。友だちの失敗を「ドンマイ」(気にするな)と許せるクラス、なんでも気がるに話し合えるクラス、そんなクラスづくりをめざして歩んでい

きたいと思えます。微力ですが、子どもたちと一緒に精いっぱいがんばるつもりですので、よろしくお願い致します。

大野小教諭 高倉さだ子



都路村立岩井沢小学校より転動してまいりました。大熊町は私が生まれ育ち、大変なつかしい町です。この町に勤務できることをしあわせに思っております。

子ども達との希望あふれた出会い、そんな新鮮な気持ちを忘れずに喜びも苦しみも子どもとともにの姿勢で、自分のできる限りを尽くしていききたいと思えます。

熊町小教諭 松岡 保夫



熊町小学校へ赴任して四か月。家庭訪問やPTA活動などを通して、地域の様子も多少わかるようになりました。大熊町というところ、原発のある辺りとしか認識していませんでした。しかし、住んでみ

て、山と海の両方を備えているのには、びっくりするとともに感激しました。また、熊町小学校をはじめ、教育文化施設が充実していることに、うらやましさを感じました。今後、このようなめぐまれた中で生活している人情味豊かな人々の仲間入りをさせていただけ

る私も、幸せ者だと思います。社会経験も乏しく、未熟者ですが、すばらしい環境の中で伸び伸び活動している子どもたちと一杯努力していきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願ひします。

大野駅駅長 馬上三喜雄



この度、川尻駅から大野駅に勤務することになりました。まだ、赴任してから日も浅くて何もわかりませんが、挨拶まわりなどで、感じたことは、役場中央から区画整理された舗装道路、近代的な小中学校またスポーツセンター等があり、緑豊かな自然があり環境のよいすばらしい町だと思えます。駅は町の玄関口にあたります。みなさまが、毎日ご利用いただく当駅をさらに親しまれる清潔な駅にするよう努力を重ねてまいりたいと思えます。お気づきのことは何でも結構です。どうぞお聞かせください。

科学技術庁福島原子力
連絡調整官事務所

所長 牛尾 一博



福島県原子力センター
所長 吉田 稔



昨年十月に赴任して、早くも、十か月が過ぎました。東京では典型的な夜型人間でしたので、初めは、夜の明りが殆どない町に寂しさと不便さを感じましたが、郷里の島根が想い出され朝型の大熊町の生活リズムにもすぐ慣れました。余暇は家庭菜園とペットのチャポ飼育、時々釣り、と都会では味わえない自然を十分楽しんでます。

町の施設も充実してきています。電源三法交付金によるスポーツセンター等もつと利用人口が増えるといいと思う位置まれた環境です。はじめ、単身赴任を主張していた家族も、体育館・テニス・公民館等、よく利用して新しい友達もでき、楽しんでるようです。

職場では、国・県・地元町村の原子力行政が円滑に遂行されるよう連絡調整を行っています。福島第一原子力発電所の運転開始以来十二年の経過で地元の方々の原子力に対する理解も深まってきたようです。今後も地元住民の安全と健康を守るための原子力行政に取り組んでいきたいと思っています。

大熊町に赴任して、三か月になりました。まず目についたのが、色々な町の施設があること。また、身近かに海があり溪谷があり、自然に恵まれた素晴らしい環境である。

特に私の場合は、今日まで勤務した所は、いわき・福島といった工場や車の多い環境で生活をしてきた関係もあり特に感じるのかもありません。当福島県原子力センターは、原子力発電所の環境放射能監視を目的として、昭和四十八年八月に設置されまもなく十年を迎えようとしており、原子力の安全確保に着手と実績をあげてきており、私としても諸先輩が築いてきた十年間の業績に負けぬよう、地域住民の安全確保に最大限の留意を払うべきと考えておりますので前任者同様よろしくお願い致します。

東京電力(株)
福島第一原子力発電所
所長 住谷 寛



このたび、前池亀所長の後を継ぎ福島第一原子力発電所に着任いたしました。再び大熊町の皆様にお世話になることになりました。当発電所には、昭和五十年七月から、二年間勤務しておりますので、古巣へ戻った感じがしております。

私がおりました頃と較べますと新庁舎の落成を始めとする様々な公共施設が完成し、商店やまた立派な個人住宅も増え、随分と様子が変わってしまっており、六年間の年月の経過をしみじみと感じております。

さて、私ども東京電力(株)は、昭和三十八年の発電所用地取得開始以来大熊町の皆様方には、絶大なご協力をいただき、発電所が完成し、現在では、六基の原子炉が稼働しております。

お陰さまで、この発電所が安定運転を継続していることにより、電力の安定供給を果たすとともに当社の経営の安定に大きく寄与することができております。これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜と深く感謝しているところであります。

今後とも、微力ではありますが、原子力発電の安全性の確保はもとより、原子力発電の安定運転を通じて地域のお役に立つよう全力を尽くす所存でありますので、よろしく、ご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

福島県水産種苗研究所
所長 大滝 勝久



栽培漁業センターの建設開始から当研究所の完成までの四年間、前任地のいわき市と当町の間を数回も往復しながら、町内のことはほとんど知らずに所員の大部分と転勤して来ました。転勤とは勤務場所、はじめての土地での生活のこと等何時も不安をとまなうものです。当所は栽培漁業関係の研究施設としては、全国的にも有数のものと自負しており勤務場所としての不安は感じなかつたけれども新設公所のためほとんどの所員と家族は、先住者の方々からの恒例の地域での暮らしについての手引が受けられず、かなり細かい思いで赴任して来られたものと思いが公共施設等の行届いていることでもかなり安心されたものと思われ

ます。地域活動も活発に行われておられるようで、町内の種々な行事に積極的に参加し、一日も早く当研究所が大熊町に同化されるようにしたいと思っておりますので、町内の方々の暖かいお誘いをお待ちしています。

子供会の思い出

野上三区 渡部 智幸

五十七年四月一日発足した野上杉の子供会の初代会長に選ばれた役を無事務めさせて頂きました。振り返ってみると楽しい事がたくさん思い出されます。

春には、三ツ森山へ遠足に行き桜の花の下で弁当を食べたときのこと、五月にはお父さん達との球技大会、七月には野上三区の公民館での一泊二日の共同合宿をし、区長さん、鈴木保蔵さんをはじめ、父兄達とハンゴウでご飯をたいて食べたことや映画を見たこと、芋煮会・クリスマス会も楽しい思い出となつていきます。

又、五十八年の三月十三日には子供会員の皆んなが僕たち六年生のなめにお別れ会を開いてくれたことです。お母さん達がウスでもちをつけてくれたり、歌をうたってくれたり楽しい日を過ごすことができました。又お別れ会の最後に皆さんで「ほたるの光」を歌ってくれた時は、ジーンと胸があつきなりました。

この思い出を大切にし、そして今後の子供会発展のためにがんばっていききたいと思っています。



家庭で非行防止を!!

夏休みに、海や山へ飛び出す子どもたちの顔は、どれも生き生きと輝いて見えます。しかしその一方、子どもたちが非行に走りやすいのもこの季節。非行に走るか走らないかは、夏休みの家庭生活をどう過ごしたかによって、大きく変わってくるようです。健康で充実した夏休みになるよう親子で十分に話し合いましょ。

夏休みの非行を防ぐ5つの「ケジメ」

欲望や誘惑に負けない強い子どもにするため、親子で心掛けたい夏休みの過ごし方を五つのポイントに分けて考えてみましょう。

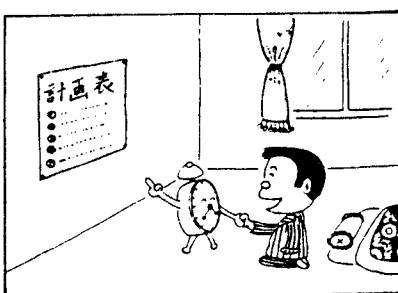
1 <時間> 約束した時間を守りませましょ。

朝寝・夜ふかし・テレビを見る時間が長くなるなど、休みにいった安心感から子どもは時間のケジメを忘れがちになります。また、夏休みは、遊びに行っても帰宅が遅れがちです。門限を決めて、キチンと守らせるようにしましょう。学校を離れてのんびり過ごすのも夏休みならではの楽しみですが前もって約束した時間には読書や家事の手伝いなど、決められたことを行うようにしたいものです。

2 <お金> 計画的な使い方 身につけさせましょ

夏休みになると、子どもは外へ遊びに行く機会が増え、お金を使うことも多くなります。無駄遣いの習慣が身につかないように気をつけましょ。子どもにお金の合理的・計画的な使い方身につけさせるためには、例えば、毎月決まった額の小遣いを与えるのも一つの方法です。一定の金額の中でやりくりできる基本的な習慣を養ってあげましょ。

3 <計画性> 夏休みならではの目標を持たせましょ



夏休みは、子どもが時間や物事の計画性を養う絶好の機会です。前もって夏休み中の計画表を作らせ、それをキチンと実行させるようにしましょ。また、不得意な科目を徹底的に勉強するとか、趣味でも学習でも興味のあるものをさらに研究するといった、夏休みならではの目標を持たせ、子どもが最後までやり遂げるよう、応援してあげましょ。

4 <友達つきあい> 「ノー」を言える強さを持たせましょ

子どもには、イヤなことや悪いことにハッキリ「ノー」と言える強さを持たせたいものです。悪いことを許し合ったり、いつでも行動を共にすることが本当の友達つきあいではないことを子どもに教えましょ。

5 <健康・安全> 健康のありがたさを理解させましょ

また、夏休みの解放感、ややもすると子どもを夜遊び・盛り場・不良交友・外泊などへと駆り立てます。親は頭ごなしに怒鳴る前に、それがどうして悪いのか、子どもといっしょになって考えてあげてください。

喫煙・飲酒・シンナー遊びなどは、青少年の健康な心身を確実にむしばみます。子どもには、日ごろから健康の大切さを話して聞かせ、スポーツなどに興味を持たせたいものです。また、自転車の二人乗りやクルマやバイクの無免許運転など交通事故に結び付く行為が増えるのもこの季節です。事故に遭ってからは遅いことを、子どもによく話してきかせましょ。

「お早よう」「今日は」「今晩は」挨拶運動を 広げましょ
あいさしは まず家庭から

大熊町走ろう会ができました

流してみませんか
— 一つしよに汗を

- ☑ 会員資格 ○大熊町に居住又は勤務先がある者 ○老若男女問わず (小学生の高学年以上)
- ☑ 練習日 ○毎週水曜日(午後六時～八時) ○毎週土曜日(午後一時～三時)
- ☑ 練習場所 ○大熊町総合グラウンド(スポーツセンターわき)

速い人もおそい人も楽しみながら走ったり跳んだり投げたり……陸上競技はすべてのスポーツの基本です。
☑ 連絡先 ○大熊町公民館まで (電話二〇六五番) — 御気軽に相談ください —

大熊町柔道会 会員募集!

大熊町柔道会は、毎週水・金曜日午後七時～午後九時まで練習を行っております。町内柔道愛好者を募集いたしますので大熊町公民館(☎二〇六五)末永一夫まで申込みください。

文芸



詩

空と心

大小五年 松本 朋子

この間まで
カラッと晴れて
美しかった青空が
今日はくもり空
雨をふらせたり
雷を鳴らしたり
いつも天気がちがう空
人間の心も
空と同じように
コロコロと
変ってしまう
空が晴れると
心も晴れる
空と心は
不思議な関係



山と私

大小六年 今井 彩美

窓から見える山
緑に見えるとき それは楽しい時
水色に見えるとき それはうれし
い時
かすんで見えるとき それは悲し
い時
山が小さく見えるとき
それは 弱い自分に負けた時
山が大きく見えるとき
それは いやなことをのりこえて
強い自分になった時
山は 私の心をうつしている

いちご

大小六年 小川 直子

緑のかわいい小さな葉かけ
白くかわいい花がさき
かたい小さい実がなった
緑の小さい実がなった
お日さまキラキラ
いちごもキラキラ
まっかにかわいく色づいて
つみとられる日はいつの日か



短歌

相田 美恵子

クレゾールの匂ひは髪に残りたる
ホーム慰問のすがしきわれに
脚弱くなりたる父は幾たびも我ら
を氣遣ひて石段のほりぬ

飯田 良江

前ぶれなく大学生の子帰りきて今
宵の夫はただ多弁なり
庭にまく残飯啄む雀らはうから集
ひて夕餉の如し

小川 澄春

古小屋にすいかずらの花咲き初め
ぬくちはてし屋根をかざるがごとく
水無月の陽はやはらかきゆべし
屋の風鈴の音に心やすまる

松野 和人

盛りなる梨花の宴もなまままに秋
待みつつ花粉つけをり
安積野に絶へて久しき花かつみさ
庭にひそと咲きていくとせ

郡司 勝雄

波騒ぐ白き砂浜に海鳥の黒き軀に
藻のまつわりて
白浜に遠くつきたりわが足跡潮満
ちくればいつか消えなむ

小林 かおる

大いなる津波は護岸をのりこえて
牙の如くに男鹿半島を襲ふ
レモンかじる千恵子の詩のなつか
しきあだたらの山を車窓より見る

佐藤 祐禎

若くして寡婦となりたるこの家の
妻に漸く笑顔見え来つ
夜の国道わが行くなへに高だから

標識宙に浮かびて見ゆる

鈴木 百合子

田の草取り終へて安らぐこの夕べ
郭公の声厨にひびく
雨あがり遠き山なみ色冴えて霞の
ごとく雲のたなびく

渡部 富久子

午告げるオルゴールの曲こだまし
て畑は梨の花盛りなり
一つことこだわり去らぬまま佇ち
し厨に露煮る匂ひ満ちくる

本多 睦子

近況をと電話せし子の声きけば長
生きしたしとふと思ふ夜半
葬りし夜心になにもとどまらず音
しげく降る雨にききあふる

吉岡 友子

新調の背広姿に整へて緊張気味に
初出勤す
農作業をあしたに夕に父親に習ふ
姿がたのもしい息子

高橋 朋子

腹立ちても出でゆく夫に言はぬま
ま門に送りて石けりて慰む
ワンマンの夫にそい来て三十五年
叱言も今は頭上をすぎゆく

堀川 晃

大雨の予報に怯ゆる初田植水廻り
に走る朝靄のなか
クラス会厚化粧して楽しげに会津
に旅立つ妻を送りぬ

俳句

つばくらやわが家子のこえ常に満つ

佐久間 信子

枇杷熟れて疎遠の友の便りあり

雨やんで朝の紫陽花色増せり

中山 安子

泰山木庭一面に匂ひけり

さみだれに降り込められて友も来ず

菅野 ミヨ

鎌形を捕らんと子等の声迫る

家内で味噌つく庭に梅雨晴れ間

鎌田 光子

鳥声をきくあかつきの新茶かな

白さぎに雨後の新樹の燃ゆるかな

川木 裕子

正座して父母の背丸き大手毬

新婚の僧衣の袖に風薫る

木村 容子

雀の子朝餉の庭に遊びおり

習字終え夜空に芍薬匂ひけり

猪井 静枝

日永さや机の上の脇枕

小言云う相手もありて日永かな

河西 かつ

庭先のあじさい亡夫の命日に

緑風ベタル踏む背に朝日かな

結城 千代

独身の身一つ余す浴衣かな

街一つ越えて激しき驟雨かな

中山 貞夫

新生活運動標語

- ◎集会の時間を守り定刻に開会しましょう。また、欠席の場合は連絡しましょう。
- ◎限りある資源を大切に使いましょう。
- ◎廃棄物（ごみ等）の区別を適切にしましょう。



我家の梨の樹

関本好一

「十年一期といって、何でも始めたら十年は続けて見る。」私をかわいがり育ててくれた、じいちゃんのお口ぐせだった。このじいちゃんとは血は繋がってないが、私の祖父であり、同時に私の人生の師でもあった。幼児に両親を失い、土工をしながら全国渡り歩いたが、ここが一番気に入った所だからと落着いたそうだ。

村の草刈場を借り開墾し、いろんな物を作ってたが、うまくゆかず、大正の初め他人の余した梨樹を買って始めたのが、我家の梨作りの始まりです。たぶん何を作っても緑に取れない瘦地だったため、一か八かの山師気で始めたのだらう。その樹は数年前、新しい品種の樹に植替たが、祖父・父・私と三代続いた樹だと思つと、何か愛着を感じ、五本程残し大事に手入れしている。古い品種だったので、三年がかりで新しい品種に接替たが樹齢八十年ながら毎年見事な実を付けている。梨樹も大切に(健全に)育ててやれば、長く働き続けるものだ。

ある座談会に出た時の事だった



「来年の夢は」と聞かれ、いろんな返事があった中で、県内リンゴ作りの第一人者といわれるAさんが、「人もリンゴも健康でありたいと願う。」といっていたが、自分や家族が健康でありたいと願うのは当たり前として、「リンゴも」といったのが、いかにも彼らしくかった。私もこれからは、自分や家族の健康と一緒に、梨樹の健康にも心掛けた梨作りに励みたいと思っています。

犬

宮本 義男

犬を飼うのには目的はなんでもろうとも檻又は鎖に繋いで飼うもの。放し飼いにすると主人との愛情が薄らぎ命令指示を無視するようになつたり他人に害を加える言わば暴犬となるからです。

私は、犬を正式に親の許しを得て飼いはじめたのが今から五十年前、小学校の四年生でした。

或る時、近所の雑犬を親の許しもなく貰い受けて来て、隠れて飼っていたところを親父に見つかり棒で殴られた時、俺は身をもって犬を腹のところに隠しかばい殴らせてすんだことがある。親父は「十一人もの子どもに食わせるのに精一杯なのに犬どころではない。口のついてるものなら片口もいらない。自分で身上持ちになったら百匹も飼え。」「捨てて来い」と怒られたが、「死んでも離すのか、俺の食う分犬にやるから飼つてもいいべ……。」と母親に泣いて頼んだ甲斐あって、親父を説得してもらいようやく許しがした。

それ以来兵隊当時は除いて終戦の年より三十八年間犬を飼ひ続けているが、三十頭は遥かにこえたであろう。飼つた種類は洋犬では、英ポインター・英セッター・アイリッシュセッター・ビグル・ユッカスパニエル等、日本犬種で紀洲犬(和歌山)・甲斐犬(山梨)・柴犬(群馬)・屋久島犬(福岡)・

アイヌ犬(北海道)等で以上は全部実猟鳥獣犬です。その外、ホンコンブルドック・スピッツ・土佐犬・シェパード犬は警察犬指定犬でした。

土佐犬は全国番付関脇であり、双葉の鉄号で有名犬でした。今飼っている犬は、アイヌ犬で北海道北文別市に住む田中莊明氏の秘蔵犬で、五代目千歳キバ王の流れを汲む七代不二峰の直仔です。この千歳キバ王は旭川市に住むアイヌ部落部族会長(酋長)のキラム・コム翁が手潮にかけて育てヒグマと闘いいち早く天然記念物として北海道庁教育委員会より指定を受けており、その七代不二峰が三年前田中さんに連れられて空知郡美咲町の白銀温泉に泊まり猟に行った時のこと、同町の小学校三年生の男の子が朝の登校中、その不二峰が山林に向つて盛んに吠えるので犬を離れたところ子をヒグマがくわえて山を引きづつて行く、そのヒグマに飛びかかり攻撃を加え噛み殺し子どもを無事救つたので人命救助で表彰を受けた。その不二峰の直仔をアイヌ犬保存協会会長の正美忠雄氏に頼んで頼んで拝み倒して様々手に入れた仔犬です。呼名は会長の名前にちなみ頭文字をとつてマミと付けました。将来はイノシシの駆除に活躍すること今から楽しみにしております。このマミ君の生後六十日小さ

いなながらも千歳空港より仙台空港

に空輸され、迎えに行つてきました。現在は我家の宝の一つです。又、私が犬を飼ひ続けて三十八年を経た今、私に犬をとるか「カカアをとるか」とたずねる人がいたとすればカカアにはすまないが犬をとると答えるであろう。このように私の人生の中に犬は大きな影響をもたらしてきたし、動物(犬)に教えられた数々を思い出しても、これからの私の生涯にとって犬は切離すことのできない大きな絆となつていくことでしょう。犬は放し飼いにせず必ず繋いで飼うことです。

図書あんない

あたらしい本

城の中の城 倉橋由美子
家計消費の動向 経済企画庁調査局

プロ野球仁義なき大戦争 江本 孟紀
かほちや校長教育談義 荒 明

ねずみのえいがかん 末吉 暁子
ほるぶ文庫(全六巻・全三巻) だいじょうぶマイフレンド

村上 龍



……ほか

小さな町

地球儀の上では小さな国日本もいざ旅してみると広いものである。当然のように、田んぼがあり畑があり、山や川がある。日頃、この大熊町近辺の地形に親しみ、これがごく普通であるように思っている。

北海道に渡ったことがある。ほっかいどー、でっかいどーと言われるように、いかにも広々としている、山があり川があり……ほど

こも同じであるが、山がゆったりであれば川もゆったり流れ、そこに広がる大地はまた、のんびりとしている。見る者の心までも寛大にしてくれそうな所である。

四国に旅したことがある。やはり山があり川がありではあるが、山は、波打ちきわから急に切り立って、家々は、山の中腹のほんの少しの平坦地に建てられている。畑は、山の斜面そのものを利用し

て作られ、平らな畑などは一つも見ることができない。四国といっても、私の見たのは、ほんの一部の光景にすぎないが、かなり住みにくいだろうなと想像する。

『住めば都』ということばもあるが、適当な広さの田や畑があり、河川があり、海岸には砂浜もある。夏も冬も極端なほどに暑からず、寒からず、私たちの住む地が、ずい分住み易くて、どこにも増して良い故郷に思えてくる。

嶋貫 美也子



成人式は八月十五日 改善センターで

成人式は、満二十歳になった方の前途を祝福する式であると同時に、社会的にも法律的にも一人前の独立した人格を得る自覚の式です。

つぎの日程で行いますので、ごぞってご参加ください。

日時 八月十五日 午前八時受付 午前九時式典開始

場所 大熊町農村環境改善センター 大研修室

町史探訪

相馬充胤公

誠胤公頌徳碑



この碑は大熊町と双葉町の境界近く(富沢の坂の上)旧国道と鉄道の間に建てられてある。建設は明治三十年五月とあり、建設者は亀屋基助とある。

頌徳表に
従四位相馬充胤公
碑 旧中村藩主

従四位相馬誠胤公と書かれ、裏には建設月日・建設者・協力者の氏名が書かれてある現双葉町・大熊町の当時一流の有志の名が刻され、台石にも数多くの人々の名が出てくる。

碑文はないので建設された趣旨は判明しない。

発起者亀屋基助ははるばる山陰地方から入植した人であるが、殿様にお世話になった御礼にとこの仕事を念願し、多くの人々の協力を得てこの碑を建てた。建設後もこの片隅に小屋を建て毎日清掃に余念がなかったと聞いている。

碑をたてた次の年、明治三十一年常磐線が開通し、近くにあった寒神社や阿部英信氏(熊町二代村長)の頌徳碑は現在地に転移され、この碑だけが残された。

を書いてみる。

相馬充胤公

相馬藩二十三代の藩主で天保六年(一八三五)十七歳で家督を相続、慶応元年(一八六五)まで三十年の間職にあった。天保四年は大凶作で天明のそれ以上にひどかったが、備蓄によって一人の餓死者もなかった。つづいて七年、また大凶作備蓄もなく遠くから食糧を買入れ難をきり抜けた。奥羽地方十万人の死者を出したが相馬藩では人口が増加している。

これより先相馬藩は真宗移民を募集して藩の復興をはかった。大熊町内の移民は大部分この充胤公時代に来た。弘化二年(一八四五)二宮仕法を実施し相馬藩は復興した。

相馬誠胤公

相馬藩二十四代の藩主で慶応元年(一八六五)から明治四年(一八七二)まで七年間職にあった。後東京にあって華族に列せられたが病氣のため異母弟に相馬家をゆずった。これを不服とする錦織剛清が相馬家を相手として訴訟を起こし長年争ったいわゆる相馬事件である。誠胤はその訴訟中に急死した。

誠胤時代には戊辰の役があり、相馬軍は東軍に属し、西軍の攻撃で熊町部落は全焼した。浪江で相馬軍は降伏し西軍に属して仙台を攻めた。その後始末、また廃藩後の士族に職を与えるための工着など誠胤は苦勞の多い藩主であった。



編集後記

いま子どもの健全育成が叫ばれているが、何々してはいけない。何々してはいけない。と言いつつただでは何にもならない。絶対に悪いことはやらせないという厳しい家庭の態度、理にかなった叱正のできる親になって欲しい。

家庭・地域・社会の厳しい愛の一声があつてこそ子どもを事故から非行から守られるものである。

館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度です。

① 主張・産業・教養・文芸に関するもの何でも結構です。

② 政治的な色彩を帯びたり、個人非難に属するものでないこと。